

じゃがいものうち通信 NO. 42 2004. 12. 17

～ 障害者と共に歩む仲間たち～

NPO法人「じゃがいものうち」

〒891-4404 鹿児島県熊毛郡屋久町尾之間136-6

Tel./Fax/0997-47-3588 E-mail/npo-jaga@po.minc.ne.jp

代表 松田 正

年末を迎えて

すっきりと晴れた冬空のもと、モッチョム岳の下で元気よく育っているじゃがいもの、二回目の土寄せをしていると、次々とやってきた台風のこと、計画を立てながらあまり出来なかったことも、新潟中越地震のことさえ忘れてしまいそうです。皆さんにとってはどんな一年でしたか？

福祉の面では大きな転換期を迎えています。昨年度からの国・県による10年間の障害者計画、その重点実施計画の「鹿児島いきいき障害者プラン21」が次々と策定され、離島にも配慮されたものになっています。

またこの10月には厚労省から「今後の障害保健福祉施策について」(改革のグランドデザイン案)が発表され、18年度からは全く別のと言っていいくらい大きな制度改革が予定されています。

- その内容は1. 障害保健福祉施策の総合化・・・障害種別等を超えた一元的な体制
2. 自立支援型システムへの転換・・・保護から自立支援への転換
3. 制度の持続可能性の確保・・・支援費制度の廃止(?)

詳しい内容についてはまだ不明な点が多いのですが、しっかり勉強して今後の活動に生かしていく必要があります。

先日、海を渡る蝶、アサギマダラの研究をしている人にお聞きしたら、今年はなんと一番遠いものでは福島県から渡ってきたのがいたそうです。ちょっと大型の、まるで落ち葉のようにはらはら舞うあの蝶のどこにそんな知恵とエネルギーがあるのだろう。じゃがいものうちの活動も、ちょっと情けないところもありますが、目指すところは一言で言えばノーマライゼーション、障害があってもふつうの暮らしが出来る社会の実現です。来年も今年以上に知恵と協力をお寄せください。皆様にもいい年になりますように。



松田

新会員紹介 『大阪は岸和田より帰ってきました鹿島さんです』

かんそうぶん

12月1日(水)曜日 天気: 屋久島 晴れ

僕は屋久島に来て今年の11月16日で一年になりました。まず屋久島に引っ越して来た時 さいしょにびっくりしたのは 家の庭が広かったり他の所も広いので びっくり。

僕はまだ「じゃがいものうち」に会員にはいって 一年にもなりません。でも僕は障害者たちとみんなといっしょに力を合わせて 楽器を作りいも掘りの作業を出来るので たのしいです。

僕は「じゃがいものうち」にはいって 本当によい勉強にもなったし友達もできたうれしいです。これからは みんなが汗水流して働く場である共同作業所が出来ると うれしいです。

これからは みんなに負けないように いろんな物にちゃれんじして行く作業なので また 参加

していきたいと思しますので どうぞよろしくお願ひします。僕のお父さんもお母さんもしんせきのおばさんもこのはなしを聞いてよろこんでいます。

12月2日(木)曜日

僕は「じゃがいものうち」に参加するようになりきつい作業やたいへんな事もありますが 一度として嫌だと思った事はありません。ジャガイモ掘り 楽器作りでもみんなの笑顔と楽しい話し声を聞くと疲れがどこかに飛んでいく。いつもそんな思いで過ごせる事が本当に ありがたいなあと感謝の気持ちで一杯になります。

「人ってみんな同じだな」と思います。いろんな人がいろんな事をおかかえて そしてみんなで助け合って何かをつくりあげてゆく「じゃがいものうち」です。

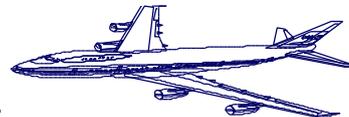
安房 鹿島浩二

臨時総会の報告

11月21日 じゃがいものおうちに13:30から臨時総会を開きました。主な議題であった会計上の不手際について、理事長が説明をし、システム上大きな欠陥のあったことを認め、理事会と担当者から謝罪をしました。これを教訓に二度と同じ過ちを繰り返さないように、システムを

改め本来の障害者福祉の拡充に、力を合わせて頑張ることを決議しました。

その後、じゃがいもの出荷先であったJAC(ジャック)の倒産のその後の経過、タンカンジュース作りの結果の概要説明をし、了承され、16:00閉会しました。 松田



東京に移って

屋久島在住期間は、本当にお世話になりました。屋久町に住んでから、すぐ親しくさせていただき、いろいろ語ったこと楽しく有意義でした。

こちらに住んで、横浜ではまずボランティアをいっぱいしましたが、なんか職員の方のお手伝いさんの関係で、本音で作業所の方と交流できませんでした。そこで、東京に移ってからは、自分で何か起こそうといろいろ調べていました。NPOの事を支援している、社会福祉課の方とも話し合い、勉強しましたが、提出する書類が半端じゃないそうで、やめました。

今は、働く人やその子供たちを支援する場を立ち上げようと、人材集めをしようとしているところです。まず、ホームページを開こうと勉強中です。

パパさんは、股関節手術をして、大成功で、し

かもリハビリを頑張って、1ヶ月たたないうちに退院してきました。

にぎやかなばば様は、初めて坐骨神経痛をして「年はとりたくないなあ。」と十分とっているのに、散歩をして治しています。ほんの近くに、温水プールがあるので、リハビリを兼ねて3人で通う計画です。私は、シェイプアップですが。

創価大学まで、1時間半なので、卒業目指して頑張っています。レポート書きで今大忙しです。素敵なお友達もどんどん増えて、近所の方もいいかたです。

自分の時間を十分生かして、生涯勉強と、人のためにお役に立ちたいものだと考えています。こちらでお役に立つことがありましたら、走りま

すよ。使ってください。 若松京子

屋久島福祉マップづくりについて(パート)

福祉マップづくりの調査もいよいよ終盤を迎え、調査員にとっては最後の追い込みとばかり永田方面班と栗生方面班に分かれ奔走し、11月末には調査もほぼ完了いたしました。お疲れ様でした。

最初は慣れないことで皆さんぐったり疲れる作業でしたが、調査が進むに連れ、調子がでてきたと思ったところで調査終了。やっと調子がでたのに残念!?

今回の調査では、まだ施設的には整っていないところも多く、島内のバリアフリー化はこれからという印象を受けましたが、調査には好意的に対応していただき、障害を持つ人達への理解も得られるよい機会になったと思います。「じゃがいものおうち」としては、この調査データを基になるべく早く、障害者に喜ばれる「屋久島福祉マップ」のインターネット化を図り、多くの人達に活用していただきたいと考えていますので、今暫くお待ちください。乞うご期待!

これからもご協力をよろしくお願いします。

高見澤

「もう少し低ければナリ」



「まっすぐ」行けないヨ」



《療育の場「縄文」では11月に県議団の視察がありました。》



県議会議員の視察

一才になったばかりの娘と共に「じょうもん」に通い初めて、早いもので5ヶ月が過ぎました。

家の中だけでは受けられない様々な刺激をもらい、娘だけでなく私自身も娘を通して成長させてもらっているという実感があります。

11月9日、県議会議員の方々による視察が行われました。私たち親の会と直接話す機会ももうけられ、離島という環境の中での現在の状況説明

や行政との関わりとして医師の診察・作業・言語など専門の先生方の定期的な指導・相談をこれからも存続して頂くよう強く要望しました。

未来ある子供達のため、行政には本土と離島の格差を縮め、充分とは言えないまでも様々な可能性を駆使して頂き、さらなる支援をして頂くことで私たち親も支えられていくものだと思っています。
屋久島療育親の会 日高喜久子

身体障害者ヘルパー派遣

在宅で生活している身体障害児者にもヘルパーさんが来てくれます。まだ介護支援ですが将来は24時間自立支援も可能です。介護者の急用や病気の時とか気軽にお願ひできるようになりました。話し相手とか代読やパソコンの手伝い等、家族以外の介護を使い今までしたくとも出来なかった事へ挑戦し始めた楯水生輪さんと事業所とヘルパーさんにそれぞれご意見を頂きました。

ヘルパー派遣事業といつても、大きく分けたら、三つに分かれます。

児童居宅 身体介護 ・排泄介助 入浴 身体にかかわるもの
家事援助 ・洗濯 掃除 身の回りに係わること。

知的居宅 同じ内容になります。

身障居宅 日常生活支援 身体介護 家事援助を含めたものを言います。

ガイドヘルパー 重度身障者 視覚障害者のための制度で、社会参加を目的とする。

上記のことを理解し、家族 自分自身のために利用して、より良い生活をおくって、ほしいものです。
佐々木澄江

楯 水生輪君 利用し1ヶ月半経過しました。

(利用者の立場として)

ひまわりを利用し、まだ一ヶ月半くらいです。まだまだやりたい事は、沢山ありますが、なかなか出来なくて、今奮闘中。

パソコン、おさんぽ、写真とり、色々ありますが、まず、なれるのが1番だと、親から教え込まれました。実際そうだと、思うこのごろです。

これからも、ヘルパーさんとやって行きたいとおもいます。

(利用者としての報告を終わります。) 楯 水生輪

ひまわりのヘルパーの一員として、水生輪さんの在宅介護に入らせていただき、もうすぐ2ヶ月になります。「じゃがいものおうち」の会員、仲間としての付き合いから、仕事として関わる事になり、私の方も緊張気味で、水生輪さんの今迄の生活リズムが崩れたりと迷惑をかけています。

限られた時間の日常生活支援ですが、水生輪さんの生命の質、生活の質、人生の質を念頭に、御家族を始め多くの方との関わりの中で生きておられる、水生輪さんを支える歯車の1つになれるよう努めたいと思っています。
松田咲美



地域通貨（屋久の水）について

『地域通貨』「エッ、それって何ですか、通貨っていうんだからお金ですか、使えるんですか、円とはどう違うんですか」などなど疑問が返ってこられると思います。これを書いている本人もつい最近、「じゃがいものおうち」で、NHKで放映された地域通貨についてのビデオを見たきっかけで出会いました。

最近、新札が発行された円ですが、さて、お金とは何のためにあるのか、と問われると3つの機能があります。

1つ目は、お金の基本の機能である物やサービスを交換するのに仲介役を果たす、交換機能。

2つ目は、天変地異が発生したときの蓄え、経済の先行き不安のための蓄え、老後のための蓄えといった貯蓄機能。

3つ目は、会社に投資し、その会社が儲けたら、その配当をもらうといった投機機能。

貯蓄機能で安心は買えましたが、みんなが貯蓄に走るばかりに、物を作っても買わない。市場には物があふれ値崩れして経済に大きな影響を与える結果となっています。

投機機能においては、投資のおかげで経済は発展してきました。しかし、数字だけのお金のやりとりで、お金の価値観もなくなり、無謀な投資をする。ついにはバブルの崩壊。そして会社倒産、自己破産といった悲惨な形で返ってきてます。

そこで地域通貨ですが、お金の基本機能である交換機能だけを備えてるお金と考えればよいと思います。貯めておいても利子は付きません、投資もできません。使わなければ意味のないお金となります。使うことにより、物やサービスが循環し人と人の結びつきや地域の活性につながっていくことと思います。

たとえば、Aさんという人が、食事を作るのは得意なのですが、大工仕事ができない。そこで、

Bさんという大工仕事ができる人に棚を作ってもらおうたのむ。Cさんという人がいて弁当を作る暇がないのでAさんに弁当のおかずを作ってくれるようたのむ。このやりとりの仲介をするのが地域通貨と考えていただければよいと思います。

地方交付税や補助金の削減で、働く場所の減少、年金削減での老後の不安、物価の上昇など不安材料がいっぱいのこの世の中で、地域通貨が、円の補助的な役割をしてくれる。そして、人と人との交流のきっかけを作り、地域の活性に光を注いでくれることを期待したいと思っております。

地域通貨（屋久の水）実行委員会により、現在、試験試行中の段階です。まだまだこれから多くの課題があると思われます。

「屋久島の美味しい水を循環させ、モノ、サービス、知恵知識、技能の交流で互いに助け合い支え合い、心と心のふれあいと地域の活性化を目指す」という目的を掲げて互いの信頼をもとに楽しい活動にしてゆきたいと考えております。

「屋久の水」という名称の由来は、屋久島という美味しい水のイメージがあります。また、人が生きていくための源となっているのも水です。この水を循環させることにより豊かになろうということで命名しました。

「屋久の水」の単位は、円ではなく水（すい）としております。価値は、1円 = 1水相当。

1時間労働あたり600水 ~ 1000水として、お互いが話し合いで決めるとしてます。

よろしく願いいたします。

ご意見ご感想、お問い合わせ

川上雄治

〒891-4406 鹿児島県熊毛郡屋久町平内319

TEL&FAX 0997-47-3359 携帯090-8941-4963

E-mail <mailto:s-friend@land.linkclub.or.jp>

URL <http://www1.linkclub.or.jp/s-friend/>

行事報告

じゃが千恵 「竹楽器を作ろう」11月14日（日）

この12月5日障害者の日のリズム遊びに使用する竹楽器を作ることになり、当日持ち寄った資料を基に作業開始。孟宗竹によるスリットドラム、サムピアノ、ディジュリドゥ、竹琴と予想以上に良い音色に気をよくし昼食をはさんで午後3時まで続けられました。

参加して下さった皆さんご苦労様でした。また竹材料集めと搬入に御協力下さいました谷本さんに感謝します。 小笠原



手をつなぐ育成会 ～みんなで施設や作業所を見に行こう～ 11月25日～26日

研修会を終えて

2年前2002年12月より「知的障害者の社会参加や自立の場を」と、知的障害者授産施設の設立に向けて動いております。これまでアンケート調査等をして利用者の把握も確認が出来ております。時代が変わり、これからは入所型の施設はほとんど作らない、地域や在宅の方への援助に国や県の予算は使われるように方針が変わりつつあります。入所型更生施設の申請を通所授産施設に変え申請しなおしました。しかしその返答も12月になっているのに、まだ出ていません。福祉予算が削られる大変な時代になっています。手をつなぐ育成会の会員は上屋久町11名、屋久町23名、最高齢83歳、年々会員数も減っております。親亡き後の子供の生活を心配されつつ先立たれる会員さんの姿を見ながら、そして島外の施設入所されている子供さんより「島へ帰りたい」との声を聞く度に、1日も早く屋久島に社会参加や自立の場を作らねば!!と思うのです。

例えば県より明るい回答が無くても作業所やグループホーム等無認可であれ作ろうと思っている次第です。そういった思いで、今年度最も大きな事業「みんなで、施設や作業所を見に行こう」を実現出来ました。鹿児島市内の菖蒲学園と麦の芽福祉会の作業所、グループホームを見学して来ました。実際にそこで生活や活躍する人達を見て、このような場所が

屋久島に欲しいと強く感じられ、高まるこの気持ちをもとに「じゃがいものおうち」をはじめ身障協、精神障害者家族会、民協等の団体と協力して実現に向け取り組んでいきます。 楯

過日、市内に於いて県の福祉大会が催され、我が育成会も多数の会員で参加することができ、大変有意義な行事であったとおもいます。その合間を利用して、各施設の見学。障害者の皆さんもいろいろな作業に非常に興味深く見入っていました。そこで作業をしている施設の皆さんの暖かい挨拶、和やかな時間を感じました。

今回の日程行動の中で再認識させられた事と云えば、障害者の皆さんは誰もが皆やさしいと云う事です。重度身障者の参加があつたにも係わらずスムーズな行動が出来た事、会員の子供達がその子供を見事なまでにサポートしているのです。

現代人が忘れかけているやさしさをこんな機会に感じようとは思っても無い事でした。

夜、宿舎でのカラオケ大会、とても楽しそうでした。障害者にとって、保護者も大事でしょうが、何よりも仲間達が集う時、別の意味での安らぎと幸せを感じている様な気がします。

今後、私達も島内でそんな環境作りに頑張りたいものです。 日高忠見



菖蒲学園作業所にて



麦の芽いきいきセンター作業所にて



菖蒲学園グループホーム



「アミュプラザ」大観覧車にて

手作りの楽器で合奏を楽しみました

障害者週間の活動として12月5日(日)午後1時30分より尾之間管理センターで「リズム遊び」を行いました。森永光子さんの津軽三味線で始まり、「座じゃじゃ」の方達の力強い演奏の後には11月の「じゃが知恵」で作った竹や鍋や鹿の皮等、材質も大きさも様々な楽器をそれぞれに持ち、まずはリズムの取り方からの練習。初めは堅かった手や体の動きも「座じゃじゃ」のジャンベや津軽三味線に合わすうちにリズムカルになり、最後に松田さんのケーナで「コンドルは飛んでいく」を合奏する頃は熱も入り最好調、ラストもぴったりにあいました。最高令者88才の野崎ヒサさんもとても楽しかったそうです。

「座じゃじゃ」、森永さん担当の小笠原さん、鈴木裕子さんそして参加者の全員お疲れさまでした。当日が高見沢信裕さんの満20才の誕生日。羽田さん手作りのケーキが急遽ローソクを灯してパースデーケーキに変身、皆でハッピーバースデーを歌ってお祝いしました。(参加者約50名) 会の活動の歯車を動かすのはみんなの1人1人の力です。積み重ねていく活動のたびに“楽しいイベント”からもう一歩進めて、地域や社会の福祉をとりまく視点やボランティア活動について考える機会になれたらとおもいます。堤言、批判、どんどん出し合ってあの合奏のように素敵な「じゃがいものうち」のハーモニーをしましょう。



「盛り上がる信裕君」



「全員での合奏」

やってきました「年末餅つき大会」

すっかり恒例になりました餅つき大会、もちろん手をつなぐ育成会の交流会も兼ねます。終わりよければ全て良し。そこで一句、「年度末 心の掃除 杵に込め」
日時 12月28日(火) 9時より
場所 屋久町保健センター
持ち物 一晩水に漬けた餅米 (3キロの餅米でお供え餅一組と丸餅20個できます)

新春「茶話会」

新年を迎えての「茶話会」を催します。多数ご参加ください。
日時 1月4日(火)10時より
場所 「じゃがいものうち」拠点
持ち物 一品持ち寄りです。
2~3月はジャガ芋収穫、タンカンジュース作りが待っています。詳しくは次号で。

感謝録 (五十音順 敬称略)

大久保鈴代、大久保恵美子、後藤田百合美、柴堯子、シンシア、高見沢義男、千葉美由紀、古川れい子、松本活栄、水柿英徳、渡辺一夫 ありがとうございます。

編集後記

あれよあれよと12月。今年目標である2ヶ月に1回の通信発行を、無事達成出来ました。丸山さんのお力です。永綱さんはワープロ入力が入りました。いつもかたわらで支えている光代さんのおかげだな。忙しい中、急な原稿依頼にもかかわらず快く引き受けて下さいました皆様、ありがとうございました。これからも通信部会は「じゃがいものうち」の活動だけでなく島全体の福祉情報を皆様に発信して行けるよう頑張りたいと思っています。それではよい年をお迎え下さい。 楯
日頃時間に追いかけるものです。ゆったりした時間を持ちたいものですが一日でもいいからあなたもパソコンを楽しみませんか、皆様のご参加をお待ちしています。来年もよろしく。 永綱・丸山